

10月に東京であった「日本トライアスロン選手権」女子で3年ぶり2度目の優勝を果たした日本福祉大3年の林愛望さん(21)=西尾市出身、まるいちトライアスロンチーム=が22日、同市役所で中村健市長に結果を報告。2026年秋の愛知・名古屋アジア大会出場が懸かる来春の大会への意気込みを示した。(西山輝一)

日本選手権の次は アジア大会V目標

同市米津小学校6年の頃に競技を始めた林さんは、岡崎城西高校3年だった17歳の時、日本選手権で史上最年少優勝を飾った。「大学入学後は調子が悪く、苦しい時期が続いた」が、今年夏に長野県で行った1ヶ月の合宿で基礎トレーニングに励み復調。1日10キロを走り込んだほか、バイクで起伏のあるコースを走破する練習などを積み、10月26日の日本選手権で2度目の優勝を成し遂げた。

同16日にオーストラリアであった「ワールドトライアスロン世界選手権U23」では、日本人女子最後の4位入賞。目標の16位も大きく上回り、林さんは「昨年までとは違つ自分で出すことができた」と手応えを語る。次の目標は、アジア大会出場が懸かる来年5月の「世界トライアスロン横浜大会」での上位入賞だ。「アジア大会に出場し、優勝を目指したい」と力

西尾市長に報告と抱負

日本トライアスロン選手権で3年ぶりに優勝した林さん=西尾市役所で



トライアスロン・林選手